



## 帯西の力を発揮した小学校授業研究会

今日は、熊本市で一斉開催された小学校授業研究会が、本校で行われました。これは、熊本市の小学校の先生の指導力の向上を図る目的で開催されています。本校では、道徳教育の充実のために、道徳科と特別活動に取り組んでいます。その道徳の授業と特別活動（学級活動）の授業の2本を、昨年度に引き続き（詳しくは昨年度の「わくわく通信177号」参照）、帯西で開催しました。これまで取り組んできたことが、熊本市の教育を牽引する力の中の一つとなっていると感じました。これもひとえに、「わくわく」する学校づくりのために、子供たちと職員のこれまでのひた向きの努力の証だと思っています。

公開した授業ですが、道徳科を4年3組の松永 宏子先生の学級で行い、学級活動を3年2組の村田 菜子先生の学級で行いました。

4年3組の道徳科では、教科書の中の「3つのつみ」というお話から「本当の親切」について考える授業でした。今回の授業は「帯西グリーン」の心「相手を思いやって親切に」に向かって子供たちの心を耕しながら、普段の生活の中の自分たちにも「誰にでも親切にする」気持ちがたくさんあることに気付かせてねらい迫っていきました。子供たちは、本当の親切のためには、「自分から進んですること」「次の人がいてもいなくてもする」「誰にでもする心が大切」など活発な意見を出し合い、一人一人が自分事として考え、子供たちの多様な考えの中から「『本当の親切』をするためにはどんな心が必要だろう」というめあてに対する答えを考えていきました。



3年2組の学級活動では、「4年生0学期に向けて自分を高めよう」という内容で、4年生に向けての「めあて」（具体的な行動目標）を決める授業でした。授業の中では、学級目標実現のために、互いのよさを事前に見つけておいて、授業中に互いによさを伝え合って、そのよさの中の一つを選んで、それをめあてとして考え、今後の実践に生かしていくという授業でした。子供たちが考えためあては、「学校でトイレのスリッパを一日2回ならべる」「昼休み学校で週に4回は、係のすることをする」「朝学校に来たら、8時までボランティアをする」などがあり、自分のよさをさらにパワーアップするために、実践しようとする思いに溢れていました。



授業後に、授業研究会があり、本校の道徳教育への取組や、子供たちの受容的な姿、積極的に意見を出し合う姿、また学校の雰囲気など熊本市の多くの先生方からお褒めの言葉を頂きました。授業者の先生方の努力、本校職員の日頃の頑張り、また子供たちの成長した姿など多くの成果を実感できた一日でした。